

令和4年12月27日

国土交通大臣
齊藤鉄夫様

埼玉県知事	大野元裕
春日部市長	岩谷一弘
草加市長	山川百合子
越谷市長	福田晃
八潮市長	大山忍
三郷市長	木津雅晟
吉川市長	中原恵人
松伏町長	鈴木勝

自動運転専用道路の整備と新たな交通システム の導入及び道路整備に関する要望について

平素より、埼玉県の発展のため、格別のご支援とご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

埼玉県東部地域の5市1町の自治体（草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町）は、さいたま市とともに令和元年に「新たなモビリティサービスによる『まち』づくり協議会」（以下「MaaS協議会」という。）を設立し、本年には、春日部市が新たに加わり、約250万の人口を有する自治体が参加する協議会となりました。

この協議会は、「新たなモビリティサービスにより、社会的な課題を解決していく」ことを目的としております。

MaaSの多くは民間による周遊型の観光目的であるのに対し、この協議会では「あらゆる人がどこへでもシームレスで、安全で自由に外出や移動することができる社会の実現」を目標とし、行政が主体となるPublicなMaaS（P-MaaS）を掲

げ、協議を重ねてきております。

近年、少子高齢化とドライバー不足により公共交通サービスの縮小、撤退が起きており、高齢者や障がいのある方の移動や外出がますます困難となってきております。

現実には、MaaS協議会の設立後、参加自治体の中にも、突然、バス路線の廃止を事業者側から伝えられ、急な財政負担を強いられる事態も起きております。

また、東部地域ではこうした公共交通サービスの撤退問題、交通弱者や交通過疎の問題が存在する一方で、土日、祝日には大型商業施設周辺での交通渋滞が問題となっております。

今後は、東京外かく環状道路と東埼玉道路が交差する八潮市八條で（仮称）外環八潮パーキングエリア（以下「八潮PA」という。）と（仮称）外環八潮スマートインターチェンジ（以下「八潮スマートIC」という。）の整備が予定されております。

完成しますと、八潮スマートICを利用してレイクタウン等の大型商業施設へと向かう車両の増加が予測され、東埼玉道路周辺では更なる交通渋滞の発生、そして渋滞による消防や救急等の緊急車両の通行に支障が出るのではと危惧しております。

こうした慢性的な渋滞の解消に向け、埼玉県東部地域の自治体では目的地手前から公共交通機関の利用を促す「パーク&ライド」に着目してまいりました。

八潮スマートIC周辺から春日部市水角までの区間を繋ぐ自動運転専用道路を整備していただき、BRT（バス高速輸送システム）などの新たな交通システムを導入し、松伏町「道の駅（検討中）」までの区間で「パーク&ライド」を実現させ、ヒトやモノの流れを公共交通機関に振り替えることで渋滞の緩和、二酸化炭素の排出量削減にもつながり、環境に与える負荷も軽減されます。

パーク&ライドの実現には、八潮スマートIC周辺や松伏町「道の駅（検討中）」での駐車場の確保、そこに接続する道路の整備などこれらの課題の克服が必要です。

このような観点から、BRTなど新たな交通システムの導入

による「パーク&ライド」の実現に、課題の克服も含めて御支援いただきますよう、よろしく申し上げます。

また、埼玉県東部地域では、令和6年度を目標に、三郷料金所スマートインターチェンジ(以下、「三郷スマート IC」という。)のフル規格での供用が予定され、今後は、前述の八潮PA、八潮スマート IC、松伏町「道の駅(検討中)」の整備が予定されております。

令和5年には埼玉県の有料道路事業として、「三郷流山橋」も供用開始が予定されております。

千葉県と繋がる都市計画道路三郷流山線沿線では、三郷北部地区土地区画整理事業、吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業等、多くの都市基盤整備事業が進められており、渋滞対策や大型車両の通行の問題、さらに小中学生や高齢者の通行の安全確保が喫緊の課題となっております。

さらに、東部地域においては、東京外かく環状道路や周辺地域の渋滞対策、災害対策の観点から三郷スマート IC と八潮スマート IC を繋ぐ道路整備の要望は大きくなっており、東部地域の自治体では国土交通省のご協力をいただきながら、大学の研究室と共同で、交通データを災害対策、渋滞対策、地域振興を学術的見地から分析シミュレーションし、「まち」づくりや道路計画に反映させていく取り組みを実施していく予定としております。

こうしたことから、まずは沿線の都市基盤整備事業と連携した東西の軸となる、都市計画道路三郷流山線をはじめ、都市計画道路浦和野田線などの東埼玉道路へのアクセス道路を強力で推進することで、地域の渋滞の緩和と安全を確保する必要があります。

つきましては、以下の項目を要望いたしますので、国土交通省におかれましては、ご支援・ご協力をよろしく願いいたします。

【要望事項】

1 東埼玉道路での自動運転専用道路整備及び BRT など新たな交通システムの導入と「パーク&ライド」の実現に向けた支援（資料参照）

(1) 自動運転専用道路整備及び BRT など新たな交通システムの導入要望区間

八潮市八條地先から春日部市水角地先（約 14.4km）

(2) パーク&ライドの実施要望区間

八潮スマート IC 周辺から松伏町「道の駅（検討中）」間

整備効果

〔自動運転専用道路の整備〕

- ① 東埼玉道路周辺はバス利用者が多く、渋滞に左右されず、定時運行が可能なモビリティへの需要が期待できる。(BRT など新たな交通システムの導入を検討)
- ② 草加・八潮工業団地、草加柿木フーズサイト、東埼玉テクノポリス、松伏田島産業団地、豊野工業団地に通勤する人達の交通利便性の向上が期待できる。
- ③ 渋滞時に消防や救急等の緊急車両用道路としての活用が期待できる。

〔パーク&ライドの実施〕

- ④ 東埼玉道路の渋滞により、レイクタウン等の大型商業施設への来訪者は、周辺施設を散策や回遊することなく帰路についており、BRT など新たな交通システムの運行による「パーク&ライド」の実施により、来訪者等が渋滞に関係なく、周辺のそうか公園、越谷いちごタウン、まつぶし緑の丘公園等への移動が可能となり、地域経済の活性化が期待できる。

- ⑤ 八潮スマート IC 周辺と松伏町「道の駅（検討中）」間において「パーク&ライド」を実施することにより、東埼玉道路への車両の流入を軽減でき、渋滞の緩和が期待できる。

2 東埼玉道路へのアクセス道路について（資料参照）

都市計画道路三郷流山線をはじめ都市計画道路浦和野田線など、東埼玉道路へのアクセス道路の早期整備に向けた予算の重点配分

3 道路整備財源の確保について

道路整備推進に必要な道路整備財源の安定的な確保と重点的な配分

自動運転専用道路の整備と新たな交通システムの導入 及び道路整備に関する要望 位置図

要望項目2 東埼玉道路へのアクセス道路 都市計画道路浦和野田線

